

だれでもが安心して

いきいきと暮らせる阿賀野市をめざして



わが国では、少子高齢化並びに人口減少が深刻な社会問題となっています。本市においても、平成7年をピークに人口減少に転じるとともに、少子高齢化・人口減少社会が進んでいる現状です。

このような中、市民一人ひとりがゆとりと生きがいを持ち、健康で幸せな生活が送れるよう、平成17年度に個人・家庭・地域及び行政が一体となって取り組む『健康あがの21計画』を策定し、10年にわたり健康づくりを推進してきました。

このたび、これまでの取り組みを検証し、新たな課題を踏まえた『第2次健康あがの21計画』を策定しました。

本計画は、健康寿命の延伸を目標とし、取り組みを進める上のポイントとして「生活習慣の基礎づくり」「生活習慣病の発症予防と重症化予防」「自殺対策を含むこころの健康づくり」「健康を支える地域づくり」に着目し、栄養、運動、喫煙・飲酒、こころの健康、歯・口腔、生活習慣病予防の各分野において、年代に応じた具体的な取り組みを示しました。

今後、この計画の推進にあたっては、行政はもとより関係機関や市民、地域、学校、企業等が一体となって健康づくりに取り組む必要があることから、多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

終わりに、この計画の策定にあたり、熱心にご検討をいただきました策定委員会の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力をいただいた市民の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成28年3月

阿賀野市長 田中清善